

令和2年度 学校長による自己評価・総合評価

1 経営ビジョンについての振り返り

- 今年の合言葉を「挑戦しよう やりとげよう」としたが、様々な活動において児童や職員の方 向性を示す道標となった。
- 全職員が一人ひとりの子どもの成長に寄り添い、機を逸さぬ指導・支援を心がけてきたこと により、児童は前向きに学校生活を過ごしている。また、松林マラソンをはじめとして、体を 動かすことを厭わず、各自が目標をもって粘り強く取り組んでいる。さらには、遠足や各種 見学、米つくりなどを通して、地域の再発見と常盤への愛着の高まりが感じられる。こうい った多くの具体的な姿から判断して、今年の経営理念「子どもの主体性が發揮される楽しい 学校」に向かい一つあると思われる。

2 重点目標についての振り返り

- コロナ対策を十分に行い、授業や行事に積極的に取り組んできた。また UD の視点を取り 入れた学習環境づくりや授業の進め方について、全職員が強く意識して取り組んできた。 これらの取り組みにより、児童や保護者も、「わかった」と感じる授業が多く主体的に学ぶ姿 勢が身に付いていると回答し、また、学校に行くのが楽しいと感じている、について児童、 保護者とも8割以上が肯定的な回答をするに至った。めざす子ども像「よくまなぶ子」「なか よしの子」「あかるくげんきな子」にさらに近づいたと思われる。

3 今後に向けた改善策

- 問い合わせが生まれ、対話の質を高める課題設定、何ができる、何が使えるようになったのかを明 確にした振り返りを大切にして、一層の授業づくりに取り組む。
- 個に応じた指導の一層の充実に努めたい。その際、関係スタッフがチームとして、見通しを もって指導・支援にあたるようにする。
- 学校も地域もさらに活力を増すようなコミュニティ・スクール、学校運営協議会づくりに向 かう。
- 子どもたちのために学び続ける職員集団「チームみなみ」として一枚岩で歩んでいく。

大町市立大町南小学校

校長 山崎晃